

北海道新幹線が開業

(作成者：富ヶ原信久)

○本州と北海道を結ぶ北海道新幹線が開業

北海道新幹線の新青森－新函館北斗間149kmが16年3月26日に開業する。30年度に予定されている札幌駅までの全線開通に向けた第一歩を踏み出す。今区間の総事業費は5,508億円。新幹線施設を鉄道・運輸機構が建設・保有し、営業主体のJR北海道に貸し付ける上下分離方式を採用した。本州-北海道間は青函トンネルの在来線と共用走行するなど、開通区間の65%がトンネルで、景色を楽しむ距離は短い。だが、東北新幹線との直結で、東京－新函館北斗間の所要時間は4時間2分、新青森－新函館北斗間は1時間1分と、本州と北海道を移動する時間的利便性が向上する。開業による経済効果が期待できそうだ。

○車両はパープルの帯で、北海道のイメージを演出

北海道新幹線用の車両はH5系で、JR東日本(9020)のE5系をベースに4編成40両を製作。製造は川重(7012)と日立(6501)。車両の帯の色はライラックやラベンダーなどを想起させるパープルとし、北海道のイメージを演出した。列車名は東北新幹線と同じ「はやぶさ」、「はやて」を使う。区間の営業最高速度は260km/h、在来線と共用走行区間は140km/hで走行する。10両編成のうち、グリーン車が1両(9号車、55名)、グランクラスが1両(10号車、18名)。電動車イス対応の大型洋式トイレ及び多目的室などバリアフリーも完備した。

○経済効果は136億円、地元経済を潤そう

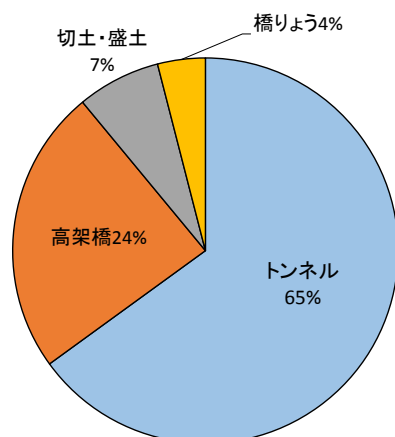
日本政策投資銀行の予測によると、今開業の経済波及効果は年間136億円。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、宮城県をベースとした観光、ビジネスの直接効果(宿泊費、飲食費、土産代など)は73億円。北海道内の生産誘発や雇用などの波及効果を63億円と見込んだ。北関東や南東北など空路が利用しにくい地域を取り込めば、さらに効果が膨らみそうだ。開業周辺地域では、自治体や企業の受け入れ準備も整う。函館山、五稜郭、金森赤レンガ倉庫、朝市、湯の川温泉など観光スポット、グルメ、温泉が楽しめる函館市では、各ホテルが客室拡張など宿泊設備を整えた。函館大沼プリンスホテルを運営する西武HD(9024)、北海道函館市湯の川温泉の「ホテル万惣」を買収したオリックス(8591)などに注目したい。南北北海道の経済の活性化で、函館で百貨店などを営むテーオー(9812、JQ)、情報ネットワークやビル管理システムなど多岐にわたる製品を販売するナラサキ(8085)、建設機械レンタル大手のカナモト(9678)など北海道の地元企業も、経済効果の恩恵を受けよう。

◇北海道新幹線（東京－新函館北斗間）の概要

開業日	16年3月26日
運転本数	13往復
はやぶさ（東京-新函館北斗）	10往復
はやぶさ（仙台-新函館北斗）	1往復
はやて（盛岡-新函館北斗）	1往復
はやて（新青森-新函館北斗）	1往復
編成	H5系・E5系 10両編成
所要時間	東京-新函館北斗間 4時間2分
料金(運賃+特急料金)	
東京-新函館北斗間	22,690円
グリーン利用	30,060円
グランクラス利用	38,280円
仙台-新函館北斗間	17,310円
盛岡-新函館北斗間	12,880円

(出所) J R北海道会社資料からCAM作成

◇開通区間（約149km）の構造物種類比率



(出所) J R北海道会社資料からCAM作成

[重要開示事項]

- 本資料は、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下「CAM」）調査部が投資判断の参考となるよう情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料はCAMが信頼できると考える情報源から得た上記日時現在の各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性についてCAMが保証するものではありません。
- 加えて、本資料に記載されたCAMの意見ならびに予測は、予告なしに変更することがあります。
- 投資に関する決定は、お客様ご自身の判断でお願いいたします。